

地域と学校がパートナーとなって子供の成長を支える

コミュニティ・スクール通信

岩手県教育委員会事務局
生涯学習文化財課 地域学校連携担当
〒020-0034 岩手県盛岡市内丸 10-1
TEL 019-629-6173
FAX 019-629-6179
E-mail DB0005@pref.iwate.jp

令和3年6月16日発行 第11号

6/11 開催 盛岡教育事務所管内 「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」



当日は、宮城教育大学学長付特任教授であり、文部科学省 CS マイスターの野澤令照氏をお招きし、先進事例の共有やパネルディスカッションを行いました。

発表者の二戸市立石切所小学校長の片野正喜氏からは、コーディネーターを活用した図書館開放や就学前の保護者や児童との交流などの地域連携の実践事例について発表いただきました。

八幡平市教育委員会社会教育指導員兼 CS アドバイザーの藤嶋茂美氏からは、コミュニティ・スクールの運営のポイント等について発表いただきました。コミュニティ・スクールは活動の創出だけではなく、精選につながることも発表いただきました。

その後、野澤氏をコーディネーター、片野氏、藤嶋氏をパネリストとして、「①教員や住民への周知、協力について」「②既存の仕組みのいかし方」「③持続可能な仕組みにするために」の3点を柱として、参加者も交えてパネルディスカッションを行いました。

最後に、CS マイスターの野澤氏より、助言をいただきました。

県立学校からも参加者があり、総勢 150 名ほどの参加がありました。お忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。

【主な助言内容】

- ◇コミュニティ・スクールの導入は「言われたからやる」のではない。これからの新たな時代を、子供たちが逞しく生き抜くことができる力を身に付けさせるとともに、幸せな人生を送ることを願って取り組む制度であり必要なもの。
- ◇岩手が長年取り組んできた「教育振興運動」は、地域の教育課題の解決まで見通しており、時代の先取りと言える取組である。岩手の財産を新たな視点でとらえ、これまでの制度をいかながら、教育県である岩手のコミュニティ・スクールの取組を全国に発信してもらいたい。

本通信は下記ホームページに掲載しています。（※ダウンロード可能）

岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>



「まなびネットいわて」には、文部科学省が作成したパンフレットや全国の事例紹介があります。また、岩手県が作成した資料や県内の事例等の紹介もあります。ぜひ、ご覧ください。